

知事のドイツ及びオランダへの訪問について

令和6年2月8日
千葉県総合企画部国際課
043-223-2392

熊谷知事は、以下の日程で、ドイツ及びオランダへの訪問を予定していますので、お知らせします。

なお、詳細な日程や内容などについては、決まり次第、お知らせします。

1 訪問の目的

- ・今年、姉妹提携の締結から5周年を迎えるデュッセルドルフ市の市長から、同市で開催される日本文化紹介イベント「日本デー」及び記念式典への招待を受けたことから、さらなる交流の促進を図るため、同市を訪問する予定です。
- ・また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に当たり本県がホストタウンを務めたオランダを訪問し、パラスポーツの取組などについて、スポーツ関係団体等との意見交換を行う予定です。
- ・両国への訪問に際しては、県経済の活性化に向けても資するものとなるよう、現地の企業・団体との面談や意見交換などの行事を調整中です。

2 日程

令和6年5月30日（木）～6月4日（火）6日間

3 訪問国（訪問先は調整中）

ドイツ（デュッセルドルフ市など）、オランダ（ロッテルダム市など）

<日程の公表について>

今後、日程詳細が決まり次第、改めてご案内します。

1 デュッセルドルフ市との交流について

(1) デュッセルドルフ市の概要

- ドイツ西部に位置し、同国 16 州のうち最大の人口と GDP を誇るノルトライン・ヴェストファーレン州の州都である。人口約 64 万人、面積約 217 km²。
- 市内の在留邦人数は 6,669 人(令和 5 年 10 月 1 日時点)にのぼりヨーロッパの中でロンドン、パリに次ぐ規模の日本人社会を擁している。
- 州政府機関の他、ドイツの主要企業本社、日本企業を含む外国企業が多数進出する州の政治・経済の中心地。
- ドイツ第三の旅客数を有する国際空港、展示面積約 30.5 万 m²を誇る国際展示場（メッセ・デュッセルドルフ）を有するなど、本県との共通点が多い。



デュッセルドルフ市の位置

(2) デュッセルドルフ市との交流について

令和元（2019）年 5 月 25 日、姉妹提携合意。経済、文化、スポーツ、学問など様々な分野において交流を推進している。交流に係る県市間の往来者数は、1,800 人以上にのぼっている。

市長：シュテファン・ケラー (Stephan Keller) 氏



- ・1970 年生まれ、53 歳
- ・2020 年 11 月 1 日就任（任期 6 年）
- ・キリスト教民主同盟（CDU）所属

【姉妹提携合意以降の主な交流】

分野	実績
スポーツ	・卓球チームの派遣(R1)・受入(R5) ・テニスチームの派遣(R1,R5)
学校交流	・佐倉高校生徒のデュッセルドルフ市内学校訪問(R5)
経済	・デュッセルドルフ市主催の経済交流会「デュッセルドルフの夕べ」への知事出席(R1,R4) ・メッセ・デュッセルドルフで開催の国際医療機器展「MEDICA」に県内企業が出展 (R3-R5)
文化	・デュッセルドルフ市で開催される日本文化紹介イベント「日本デー」にて千葉県 PR ブースを県が出展 (R1,R4-R5)
その他	・デュッセルドルフ日本奨学財団等による奨学生受入(R1,R5) ・デュッセルドルフ市から、房総半島台風等による本県の被災に対し、災害義援金約 7 万 4,000 ユーロ（約 885 万円）を受領(R1) ・ライン川の氾濫によるデュッセルドルフ市の洪水被害に対し、県から、災害見舞金 2 万 5,000 ユーロ（約 330 万円）を贈呈(R3)

(3) 令和 4 年度のケラー市長の来県について

- ・9 月 12 日：ケラー市長初来日、熊谷知事と会談。
- ・9 月 13 日：ケラー市長、柏の葉スマートシティを視察。
- ・9 月 14 日：都内で開催されたデュッセルドルフ市主催の経済交流会「デュッセルドルフの夕べ」に、熊谷知事が出席。

2 オランダとのホストタウン交流について

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に当たり、千葉県がオランダのホストタウンを務め、以下のとおり事前キャンプを受け入れた。

【事前キャンプの受け入れ】

＜オリンピック＞

○陸上代表チーム

令和3年7月16日～8月2日 / 千葉県総合スポーツセンター（千葉市）

○水泳代表チーム（競泳、アーティスティックスイミング、水球女子）

令和3年7月11日から26日まで / 千葉県国際総合水泳場（習志野市）

＜パラリンピック＞

○陸上代表チーム

令和3年8月12日～8月23日 / 千葉県総合スポーツセンター